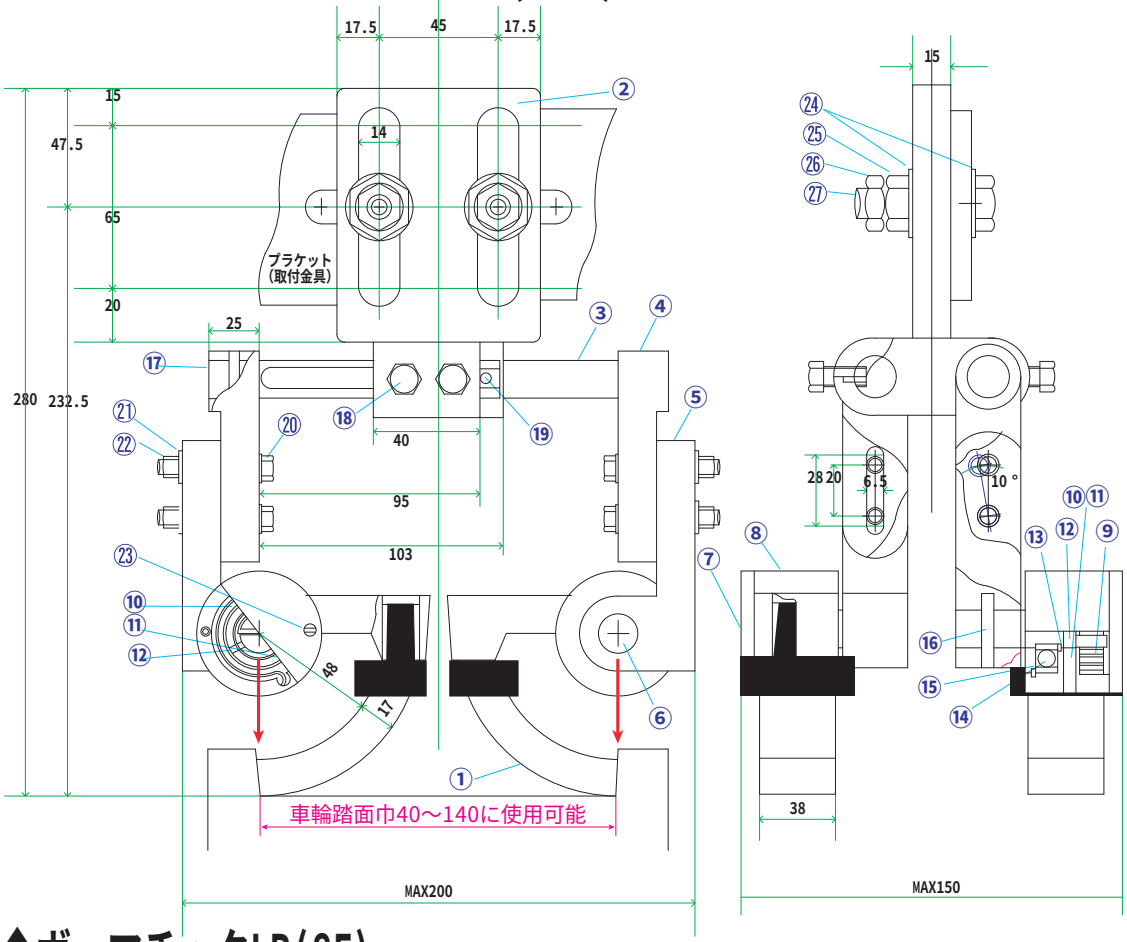
◆ＬＢＦ－８型フランジ防摩器(本体)

【取扱説明書】



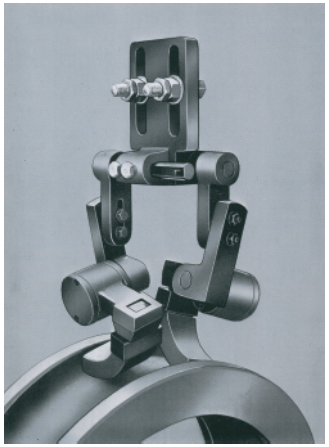
本器はクレーン等レール上を走行する両縁車輪の両縁磨耗防止のため、グリースを適量・適性に塗布させる装置です。
下記ボーマチックを左右対称に装備し、内蔵されたバネにより双方圧接されます。

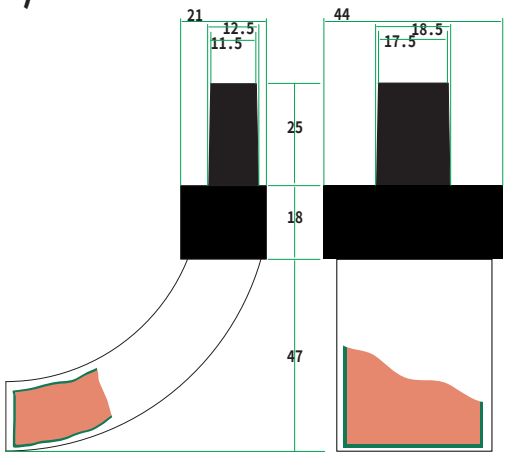
【取付方法】
- 車枠の任意の場所に設けられたプラケット（取付金物）に②支持金物を仮固定します。
- 使用中にボーマチックの折損を発生させないため⑥支軸のセンターと④中間金物の内側線が車輪フランジ線上になるよう、③スライド軸を調整しセットして下さい。
  正しくセットされれば稼動中、車輪のサイドプレイに対してもボーマチックは車輪踏面ラインより下がらず、常時フランジ面に圧接され折損しません。
  ※ボギー式車輪の場合は、防摩器と車軸の関係が常時一定であるという必要条件から車輪の覆等任意の場所に防摩器をセットする必要があります。
- ⑱スライド軸締付ボルトで③スライド軸を固定します。
- ㉑㉒ ボルトナットで⑤調整金物を④中間金物に固定します。
- ④中間金物は長穴になっており⑤調整金物のボルト穴2ケによって高さ8㎜角度約10度の微調整が可能で、接面が平面のボーマチックを円形の車輪に適切にセットできます。
- ⑧バネ箱の穴にキャップ部分を挿入しボーマチックを装着します。
- ㉔ ～ ㉗ ボルトナットで②支持金物を固定します。

【ボーマチックの交換】
ボーマチックがキャップ部分のみになるまで磨耗すればキャップを除去し、新しいボーマチックを挿入して下さい。

現在の殆どのクレーンの両縁車輪のフランジに、スライド軸を調整固定すれば規格均一化されたＬＢボーマチックを初期の段階から正確に当接が可能です。
ＬＢボーマチックはグリースが流出しないよう設計されておりますので無駄なく、安定した、清潔な潤滑効果を提供します。

◆ボーマチックLB(8F)





①特殊グリースを使用しています。超微粒子化（1～5ミクロン）した潤滑性金属、合金及び化合物を混入したもので低温では勿論、高温（200℃）になっても塗布面へ密着し流出しません。
②ボーマチックの容器部（センサー）は、グリースの流出を防ぎ均一な塗布状態を保つようデザインされております。センサーはグリースの”余分な塗布”、”切れ”を防止する役目を果たしますがこれがボーマチック装置最大の特徴であります。結果、グリースが適性に塗布されている状態の時容器はその上を滑動して殆ど磨耗しませんが、グリースが塗布されてる量が少なくなってくると自らは磨耗して新しいグリース面を出し適性塗布状態に戻していきます。
③キャップ（プラスチック性）は圧接されたボーマチックが車輪の稼動衝撃を受けて折損するのを防ぎ、　（プラスチックの）挿入部分をテーパー形状にしてあるので車輪が車軸に沿ってサイドプレイをしてもボーマチック先端部がフランジ面と圧着するようデザインされております。

○固形容器（カーボン）
●粘着性減摩剤（グリース）
●密閉剤（ワックス）

ライトボーマ株式会社
本　社　〒761－8044
香川県高松市円座町1577番地8
TEL（代）087－886－3128
FAX　087－886－1907
MAIL　info@lightboma.com
HP　http://www.lightboma.com
※ホームページから印刷できます